

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：山崎 泉 作成日：2023年12月20日

1. 教育の責任

私は経営学部で主に簿記・会計の授業を担当しています。2023年度はキャリアデザインⅠ・Ⅱ、商業簿記Ⅰ、工業簿記、パソコン会計、上級簿記Ⅰ・Ⅱ(短期大学部)、経営学の扉(オムニバス授業のうちの1コマ)を担当しました。

- ・キャリアデザインⅠ：春学期、24人
- ・キャリアデザインⅡ：秋学期、20人
- ・商業簿記Ⅰ：春学期、168人、2クラスに分けてクラス運営
- ・工業簿記：秋学期、76人
- ・パソコン会計：秋学期、73人
- ・上級簿記Ⅰ・Ⅱ：秋学期、短期大学部、3人
- ・「経営学の扉」「企業経営を考える」：春学期・秋学期、オムニバス授業のうちの1コマ

企業が活動するためには、お金の知識が必要です。簿記・会計の学習は資格に直結しています。そこで、経営学の基礎知識の1つである簿記・会計を学ぶと同時に、目標をもって学習を進めてもらえるよう資格取得も目指せるクラス運営をしています。

2. 教育の理念

4年間の学生生活はあっという間です。常に具体的な目標をもって計画的に学習し続ける習慣を身につけてほしいと思っています。

3. 教育の方法

簿記・会計を学習すると、企業のお金の動きを知ることができ、企業の仕組みを理解することができます。文章読解力、正確に業務を遂行する力、論理的思考力も養うことができ、資格取得にも直結しています。資格取得はあなたの自信につながり、自信は様々なことに挑戦する意欲につながると考えています。そこで、授業の中でも資格取得を推奨しています。「商業簿記Ⅰ」「工業簿記」「パソコン会計」では毎回の授業の課題で理解度を確認し、質問を受け付けます。質問はクラス全体で共有し、一緒に考えます。履修生の理解度は様々です。そこで、授業を録画して復習用に公開したり、オンデマンド動画で問題演習を行うなど、レベルや意欲に合わせた教材を用意しています。

4. 教育の成果

2023年度は「商業簿記Ⅰ」「工業簿記」で簿記検定の受検を推奨し、多くの学生が資格取得に向けて行動し、挑戦してくれました。可否に関わらず、検定を目指して計画を立て、試験の当日まで諦めずに行動したことに価値があると考えます。合格した人は次の目標に向けて、残念ながら不合格だった人は再挑戦に向けて、常に学び続けることを習慣化してほしいです。

5. 改善への努力と今後の目標

簿記・会計をはじめ学ぶ学生のための授業では、簿記・会計の学習を楽しんでもらいたいです。そのために、専門用語を分かりやすく伝え、毎回の授業で「できた・わかった」と感じてもらえるようなクラス運営を目指します。一人でも多くの履修生に「検定試験にも挑戦してみよう」と思ってもらえるような学習環境づくりに取り組みたいと考えます。また、会計分野の入門科目を履修した学生に、さらに発展的な会計科目にも挑戦したいと思ってもらえるよう、会計の学びを継続してもらえるよう、尽力したいです。

【添付資料】

シラバス